

あいづっこ人材育成プロジェクト事業「地域から学ぶ」プログラム

企業・団体名	会津オリンパス株式会社 URL : https://www.aizu.olympus.co.jp/		
プログラム名	内視鏡の授業		
ジャンル (複数選択可能)	☒ 理科(理科実験・科学技術体験) ☐ 英語 ☐ ICT・プログラミング ☐ 経済 ☐ 環境 ☐ 食育 ☐ 運動・スポーツ ☐ 音楽・芸術 ☐ 伝統産業 ☐ 歴史・文化 ☒ ものづくり ☐ キャリア・職業体験 ☒ 福祉・医療・介護 ☐ 地域理解 ☐ 国際理解 ☐ その他【 】		
対象学年 (複数選択可能)	☒ 中学校 【 1 】年生 ～ 【 3 】年生		
目的・テーマ	・世界シェア約 70%の消化器内視鏡が会津若松市で製造されていることを PR ・普段触れることのできない内視鏡の操作体験 ・工作の授業を取り入れ、ものづくりの楽しさを体現		
プログラム内容 ※特色なども記載ください	【学校開催】医療現場で活躍している内視鏡を学校へ持ち込み授業を行います。 ●内視鏡キッズ教室 (50 分) ・オリンパス/内視鏡の説明 (座学) ・内視鏡の操作体験 (実習) ●レンズのはたらきを学ぼう (50 分) ・光学の基礎 (座学) ・カメラオブスキュラ (カメラ原理) の工作 (実習) 【企業内開催】工場見学、内視鏡の授業を工場で行います。 ●会津工場見学 (50 分) ・オリンパス/内視鏡の説明 (座学) ・内視鏡の操作体験 (実習) ・内視鏡を製造している職場の見学 (見学) ●レンズのはたらきを学ぼう (50 分) ・光学の基礎 (座学) ・カメラオブスキュラ (カメラ原理) の工作 (実習)		
対象人数	学校開催：100 人程度 企業開催：60 人程度	必要時間	200 分程度 準備 100 分 授業 100 分 (50 分×2)

開催可能時期	第一優先：5月下旬～7月、第二優先：11月
費用	無料
必要機材	☐ 企業側で準備するもの 内視鏡システム一式 ☐ 学校側で準備するもの ※学校開催時 ①100kg程度を搬入出できる搬入口 ②可能であれば“プロジェクター”“スクリーン” ③2階以上の場合は、100kg程度を昇降できるエレベーター ④会場2箇所：体育館と教室 ※企業内開催時の送迎バスの手配は、学校教育課が行います。
開催場所	☒ 学校（出前授業） ☒ 企業内施設 ☐ 外部施設 ☐ その他【 】

あいづっこ人材育成プロジェクト事業「地域から学ぶ」プログラム

企業・団体名	三菱マテリアル株式会社 若松製作所 URL : https://www.mmc.co.jp/corporate/ja/ 玉川エンジニアリング株式会社 URL : http://www.tama-eng.co.jp/		
プログラム名	作業現場に潜む危険体感 URL : http://www.tama-eng.co.jp/company/training-center.html URL : https://www.mmc.co.jp/corporate/ja/business/copper/		
ジャンル (複数選択可能)	☐ 理科(理科実験・科学技術体験) ☐ 英語 ☐ ICT・プログラミング ☐ 経済 ☐ 環境 ☐ 食育 ☐ 運動・スポーツ ☐ 音楽・芸術 ☐ 伝統産業 ☐ 歴史・文化 ☐ ものづくり ☒ キャリア・職業体験 ☐ 福祉・医療・介護 ☐ 地域理解 ☐ 国際理解 ☒ その他【 安全教育 】		
対象学年 (複数選択可能)	■小学校 【 5 】 年生 ～ 【 6 】 年生 ■中学校 【 1 】 年生 ～ 【 3 】 年生		
目的・テーマ	銅製品が出来るまでの流れを知り、生産現場における「危険」について自分で体感し、「安全」に作業をすることの重要性について学びます。		
プログラム内容 ※特色なども記載ください	1 座学(三菱マテリアル) 約 30 分 ①会社説明 ※製造ラインの動画 約 20 分 ②工場見学注意事項及び保護具着用方法の説明 約 10 分 2-1 工場見学(三菱マテリアル) 約 40 分 2-2 危険体感(玉川エンジニアリング) 約 60 分		
	順番	内 容	所要時間
	1	ヘルメットの正しい被り方 (あごひも)	3 分
	2	粉塵爆発体感 (小麦粉を使用します)	3 分
	3	脚立の危険性体感 (日常の脚立使用)	3 分
	4	異なる素材による重さ体感 (銅、アルミ、木、鉄、プラなど)	5 分
	5	感電体感	10 分
	6	インターロック (安全装置について知る)	5 分
	休 憩		



粉塵爆発体感



高所歩行体感

	7	安全帯を着用して高所歩行体感 (グループ分け)	 □ロール引き込まれ体感	15 分
	8	□ロール引き込まれ体感 (グループ分け)		15 分
	9	質疑応答		
対象人数	最大 16 人(8 人×2 班)		必要時間	150 分程度 (移動時間含む)
開催可能時期	4 月 ～ 3 月 ※但し、7、8、11～3 月は体調管理(暑熱、極寒)の面から要相談			
費 用	1 (人 ・ クラス ・ 回) あたり 【 無料 】 円			
必要機材	■企業側で準備するもの 【 ヘルメット、軍手、保護めがね 】 ■学校側で準備するもの 【 運動着(長袖、長ズボン)、スニーカー着用 】			
開催場所	☐ 学校(出前授業) ■企業内施設 ☐ 外部施設 ☐ その他【 】			

あいづっこ人材育成プロジェクト事業「地域から学ぶ」プログラム

[illegible]

あいづっこ人材育成プロジェクト事業「地域から学ぶ」プログラム

企業・団体名	SAP ジャパン株式会社 URL : https://www.sap.com/japan/about.html#aboutsapjapan		
プログラム名	IT 人材育成プログラミング教室 Snap!（オンラインまたは現地実施）		
ジャンル	☐ 理科（理科実験・科学技術体験） ☐ 英語 ☒ ICT・プログラミング ☐ 経済 ☐ 環境 ☐ 食育 ☐ 運動・スポーツ ☐ 音楽・芸術 ☐ 伝統産業 ☐ 歴史・文化 ☐ ものづくり ☐ キャリア・職業体験 ☐ 福祉・医療・介護 ☐ 地域理解 ☐ 国際理解 ☐ その他【 】		
対象学年	■ 小学校 【 1 】 年生 ～ 【 6 】 年生		
目的・テーマ	プログラミング教室を通して IT 人材育成を図ります。		
プログラム内容	ウェブブラウザを利用したビジュアルプログラミング。 パソコン、マウス、インターネット環境があればオンライン または現地にて実施も可能です。		
対象人数	1 人 1 台のパソコン×10 人程度	必要時間	1 時間半～2 時間半時間 程度
開催可能時期	随時可能 ※機材、ボランティア社員等準備が必要になりますので、希望実施日の 1.5 カ月前までにご連絡をお願いします。 ※実施日、準備等についてはお気軽にご連絡ください。		
費 用	1 （ 人 ・ クラス ・ 回 ） あたり 【 無 料 】 円		
必要機材	■企業側で準備するもの 【無】 ■学校側で準備するもの 【PC、マウス、インターネット環境、オンラインの場合はウェブカメラ（PC 内蔵または外付け）、マイク付きイヤホン・ヘッドセット / 参加者】		
開催場所	■学校（出前授業） ☐ 企業内施設 ☒ 外部施設 ☐ その他 【 】		

あいづっこ人材育成プロジェクト事業「地域から学ぶ」プログラム

企業・団体名	JICA 二本松（独立行政法人国際協力機構 二本松青年海外協力隊訓練所） URL： https://www.jica.go.jp/nihonmatsu/index.html		
プログラム名	JICA 出前講座 参考 URL： 開発教育事業 日本国内での取り組み https://www.jica.go.jp/domestic/nihonmatsu/activities/kaihatsu/index.html 国際協力出前講座 日本国内での取り組み https://www.jica.go.jp/domestic/nihonmatsu/office/1561336_2430.html		
ジャンル (複数選択可能)	☐ 理科（理科実験・科学技術体験） ☐ 英語 ☐ ICT・プログラミング ☐ 経済 ☐ 環境 ☐ 食育 ☐ 運動・スポーツ ☐ 音楽・芸術 ☐ 伝統産業 ☐ 歴史・文化 ☐ ものづくり ☐ キャリア・職業体験 ☐ 福祉・医療・介護 ☐ 地域理解 ☒ 国際理解 ☐ その他【 】		
対象学年 (複数選択可能)	☒ 小学校 【 1 】年生 ～ 【 6 】年生 ☒ 中学校 【 1 】年生 ～ 【 3 】年生		
目的・テーマ	開発途上国を通して、国際理解教育を行います。		
プログラム内容 ※特色なども 記載ください	開発途上国で国際協力に携わってきた JICA 海外協力隊経験者である JICA 職員が開発途上国での異文化体験、ボランティア活動、国際協力について、お話しするプログラムです。ご要望に応じて内容をご相談させていただきます。 例)・開発途上国の異文化・生活体験の紹介 ・JICA 海外協力隊としての現地での活動の紹介 ・国際理解関連のワークショップ 他 		
対象人数	要相談	必要時間	要相談
開催可能時期	通年 ※日時は要相談		
費用	なし (JICA 職員以外の JICA 海外協力隊経験者講師依頼は別途費用が発生します)		
必要機材	☒ JICA 側で準備するもの 【 PPT スライド、配布資料等 】 ☒ 学校側で準備するもの 【 パソコン、プロジェクター、スクリーン、マイク等 】		
開催場所	☒ 学校（出前授業） ☐ 企業内施設 ☐ 外部施設 ☐ その他【 】		

あいづっこ人材育成プロジェクト事業「地域から学ぶ」プログラム

[illegible]

あいづっこ人材育成プロジェクト事業「地域から学ぶ」プログラム

[illegible]

あいづっこ人材育成プロジェクト事業「地域から学ぶ」プログラム

[illegible]

あいづっこ人材育成プロジェクト事業「地域から学ぶ」プログラム

[illegible]

あいづっこ人材育成プロジェクト事業「地域から学ぶ」プログラム

企業・団体名	一般財団法人 会津若松観光ビューロー 若松城天守閣郷土博物館 URL : http://www.tsurugajo.com		
プログラム名	会津の歴史教室		
ジャンル	☐ 理科（理科実験・科学技術体験） ☐ 英語 ☐ ICT・プログラミング ☐ 経済 ☐ 環境 ☐ 食育 ☐ 運動・スポーツ ☐ 音楽・芸術 ☐ 伝統産業 ☒ 歴史・文化 ☐ ものづくり ☐ キャリア・職業体験 ☐ 福祉・医療・介護 ☐ 地域理解 ☐ 国際理解 ☐ その他【 】		
対象学年	■小学校 【 4 】年生 ～ 【 6 】年生		
目的・テーマ	「会津の歴史（戦国時代以降）」「鶴ヶ城の歴史」「御薬園の歴史」など、可能な範囲でご要望に応じます。		
プログラム内容	主に学校へ出向いての授業、鶴ヶ城内を歩きながらなど、学芸員が対応させていただきます。		
対象人数	50～60 人以下程度 （応相談）	必要時間	45～90 分程度 （応相談）
開催可能時期	7 月以降。日常業務の都合、また月単位で出勤日を決定しているため、最短でも一か月前での日程調整が必要となります。		
費 用	1 （人・クラス・回）あたり 【 0 】 円		
必要機材	■企業側で準備するもの 【資料等・プロジェクター・スクリーン・モニター・マイクなど（会場の広さによります。） 】 ■学校側で準備するもの 【プロジェクター・スクリーン・モニター・マイクなど（会場の広さによります。） 】		
開催場所	☒ 学校（出前授業） ☒ 企業内施設 ☐ 外部施設 ☐ その他【 】		

あいづっこ人材育成プロジェクト事業「地域から学ぶ」プログラム

[illegible]

あいづっこ人材育成プロジェクト事業「地域から学ぶ」プログラム

企業・団体名	福島県立テクノアカデミー会津 観光プロデュース学科 URL : https://www.tc-aizu.ac.jp		
プログラム名	観光という視点から考える会津地域の魅力と地域活性化		
ジャンル (複数選択可能)	☐ 理科(理科実験・科学技術体験) ☐ 英語 ☐ ICT・プログラミング ☐ 経済 ☐ 環境 ☐ 食育 ☐ 運動・スポーツ ☐ 音楽・芸術 ☐ 伝統産業 ☐ 歴史・文化 ☐ ものづくり ☐ キャリア・職業体験 ☐ 福祉・医療・介護 ☒ 地域理解 ☐ 国際理解 ☐ その他【 】		
対象学年 (複数選択可能)	☒ 小学校 【 5 】年生 ～ 【 6 】年生 ☒ 中学校 【 1 】年生 ～ 【 3 】年生		
目的・テーマ	小学校：会津地域の魅力を客観的な視点を基に再認識し、郷土の魅力について理解を深めます。 中学校：政治や経済、地域との繋がりについて観光という面から具体的な事例を基に学習し、会津地域の将来にどう関わっていくのか考え理解を深めます。		
プログラム内容 ※特色なども記載ください	小学校：日本人観光客へのインタビュー動画やテキストを通じて、今まで不鮮明であった会津地域の魅力についてより鮮明にイメージすることができます。 中学校：1回目の授業では、外国人観光客へのインタビュー動画を基に観光という面から会津地域の現状や課題について理解します。2回目の授業では、1回目の内容を基に各人またはチームで情報の共有やアイデアを出し合い、課題解決に向けた協議を行います。		
対象人数	約10名～80名 (昨年度実績です)	必要時間	小学校：約50分程度 中学校約50分程度×2回
開催可能時期	原則通年の開催が可能です、ご相談させていただく場合もございます。		
費用	費用はかかりません。		
必要機材	☒ 当方で準備するもの 【 DVD、テキスト】 ☒ 学校側で準備するもの 【 スクリーン、プロジェクター、ホワイトボード 】		
開催場所	☒ 学校(出前授業) ☐ 企業内施設 ☐ 外部施設 ☐ その他【 】		

あいづっこ人材育成プロジェクト事業「地域から学ぶ」プログラム

企業・団体名	福島県立テクノアカデミー会津 自動車整備科 URL: https://www.tc-aizu.ac.jp		
プログラム名	クルマの技術に触れてみよう！ (サブテーマ：エンジンを分解してみよう！・クルマのIoT技術って何？)		
ジャンル (複数選択可能)	☐ 理科(理科実験・科学技術体験) ☐ 英語 ☐ ICT・プログラミング ☐ 経済 ☐ 環境 ☐ 食育 ☐ 運動・スポーツ ☐ 音楽・芸術 ☐ 伝統産業 ☐ 歴史・文化 ☐ ものづくり ☒ キャリア・職業体験 ☐ 福祉・医療・介護 ☐ 地域理解 ☐ 国際理解 ☐ その他【 】		
対象学年 (複数選択可能)	☒ 小学校 【 4 】年生 ～ 【 6 】年生 ☒ 中学校 【 1 】年生 ～ 【 3 】年生		
目的・テーマ	①エンジンが動く仕組みを学び、理解を深めよう。 ②タブレット(外部診断機)を使ったクルマを動かしてみよう。		
プログラム内容 ※特色なども記載ください	①刈払い機用エンジンを、工具を使って分解・組立をすることで構造を理解することで、工具を使う楽しさを体験する ②タブレットを使って、自動車の部品(ホーン・ハザードランプ・ドアロック・ワイパ等)を作動・停止させる「アクティブテスト」を行い、クルマのIoT技術を体験する。		
対象人数	約10名～30名	必要時間	約100分 (50分/時限×2時限)
開催可能時期	原則通年の開催が可能です、ご相談させていただく場合もございます。		
費用	費用はかかりません。		
必要機材	☒ 当方で準備するもの 【テキスト、分解用エンジン、工具類、車両】 ☒ 学校側で準備するもの 【スクリーン、プロジェクター、作業用机、車両展示スペース】		
開催場所	☒ 学校(出前授業) ☐ 企業内施設 ☐ 外部施設 ☐ その他【 】		

あいづっこ人材育成プロジェクト事業「地域から学ぶ」プログラム

企業・団体名	福島県立テクノアカデミー会津 自動車整備科 URL : https://www.tc-aizu.ac.jp		
プログラム名	クルマのメカニクになってみよう！ (サブテーマ：メカニックスーツを着て、タイヤ交換などを体験してみよう！)		
ジャンル (複数選択可能)	☐ 理科(理科実験・科学技術体験) ☐ 英語 ☐ ICT・プログラミング ☐ 経済 ☐ 環境 ☐ 食育 ☐ 運動・スポーツ ☐ 音楽・芸術 ☐ 伝統産業 ☐ 歴史・文化 ☐ ものづくり ☒ キャリア・職業体験 ☐ 福祉・医療・介護 ☐ 地域理解 ☐ 国際理解 ☐ その他【 】		
対象学年 (複数選択可能)	☒ 小学校 【 1 】年生 ～ 【 6 】年生 ☒ 中学校 【 1 】年生 ～ 【 3 】年生		
目的・テーマ	メカニク(自動車整備士)の職業体験をして、仕事への理解を深める		
プログラム内容 ※特色なども記載ください	①実車を用いて、タイヤ交換作業など、自動車整備の体験する。 (メカニックスーツはサイズに限りがあります。) ②タブレットを使って、自動車の部品(ホーン・ハザードランプ・ドアロック・ワイパ等)を作動・停止させる「アクティブテスト」を行い、クルマのIoT技術を体験する。		
対象人数	約10名～30名 (要相談)	必要時間	約100分 (50分/時限×2時限)
開催可能時期	原則通年の開催が可能ですが、ご相談させていただく場合もございます。		
費用	費用はかかりません。		
必要機材	☒ 当方で準備するもの 【テキスト、車両、自動車昇降用リフト、工具類】 ☒ 学校側で準備するもの 【特にありません】		
開催場所	☐ 学校(出前授業) ☒ 企業内施設 ☐ 外部施設 ☐ その他【 】		

あいづっこ人材育成プロジェクト事業「地域から学ぶ」プログラム

企業・団体名	福島県立テクノアカデミー会津 電気配管設備科 URL : https://www.tc-aizu.ac.jp		
プログラム名	エアコンの仕組みについて理解する		
ジャンル (複数選択可能)	☐ 理科(理科実験・科学技術体験) ☐ 英語 ☐ ICT・プログラミング ☐ 経済 ☐ 環境 ☐ 食育 ☐ 運動・スポーツ ☐ 音楽・芸術 ☐ 伝統産業 ☐ 歴史・文化 ☒ ものづくり ☐ キャリア・職業体験 ☐ 福祉・医療・介護 ☐ 地域理解 ☐ 国際理解 ☐ その他【 】		
対象学年 (複数選択可能)	☒ 中学校 【 1 】年生 ～ 【 3 】年生		
目的・テーマ	エアコンを通して、身近な機器の構造や仕組みを知ることにより、ものづくりの大切さと生活の係わりについて理解を深めます。		
プログラム内容 ※特色なども記載ください	身近にある住宅設備の一つである「エアコン」にスポットを当て、なぜボタン一つで冷やすことと暖めることができるのか仕組みを理解します。また、実際にエアコンに使用するパイプを使ってパイプ同士をつなぎ合わせる「フレア加工」を行い、加工技術の一つを勉強します。		
対象人数	約5名～20名	必要時間	約50分程度
開催可能時期	要相談。		
費用	費用はかかりません。		
必要機材	☒ 当方で準備するもの 【 冷媒配管工具一式、冷媒配管】 ☒ 学校側で準備するもの 【 スクリーン、プロジェクター、ホワイトボード】		
開催場所	☒ 学校(出前授業) ☐ 企業内施設 ☐ 外部施設 ☐ その他【 】		

あいづっこ人材育成プロジェクト事業「地域から学ぶ」プログラム

企業・団体名	福島県立テクノアカデミー会津 電気配管設備科 URL : https://www.tc-aizu.ac.jp		
プログラム名	空撮ドローンの操作と活用方法		
ジャンル (複数選択可能)	☐ 理科(理科実験・科学技術体験) ☐ 英語 ☐ ICT・プログラミング ☐ 経済 ☐ 環境 ☐ 食育 ☐ 運動・スポーツ ☐ 音楽・芸術 ☐ 伝統産業 ☐ 歴史・文化 ☐ ものづくり ☒ キャリア・職業体験 ☐ 福祉・医療・介護 ☐ 地域理解 ☐ 国際理解 ☐ その他【 】		
対象学年 (複数選択可能)	☒ 小学校 【 5 】年生 ～ 【 6 】年生		
目的・テーマ	空撮ドローンの操作方法を楽しみながら学び、活用方法を発見します。		
プログラム内容 ※特色なども記載 ください	小型の飛行ドローンを用いた操作方法を学びます。また、講師が操作する大型ドローンを用いた動作や集合写真の撮影などを行う。		
対象人数	約 10 名～30 名	必要時間	約 5 0 分程度
開催可能時期	4 月～10 月 (気温が下がるとバッテリー性能が落ちるため、11 月～3 月是对応できません)		
費 用	費用はかかりません。		
必要機材	☒ 当方で準備するもの 【 ドローン、テキスト】 ☒ 学校側で準備するもの 【 プロジェクター、空撮写真を印刷する場合はプリンター】		
開催場所	☒ 学校(出前授業) ☐ 企業内施設 ☐ 外部施設 ☐ その他【 】		

あいづっこ人材育成プロジェクト事業「地域から学ぶ」プログラム

企業・団体名	株式会社 羅羅屋 会津工場 URL： https://raraya.co.jp/company/aizu		
プログラム名	身近なランドセルからものづくりの流れを学ぼう		
ジャンル (複数選択可能)	☐ 理科(理科実験・科学技術体験) ☐ 英語 ☐ ICT・プログラミング ☐ 経済 ☐ 環境 ☐ 食育 ☐ 運動・スポーツ ☐ 音楽・芸術 ☐ 伝統産業 ☒ 歴史・文化 ☒ ものづくり ☐ キャリア・職業体験 ☐ 福祉・医療・介護 ☐ 地域理解 ☐ 国際理解 ☐ その他【 】		
対象学年 (複数選択可能)	☒ 小学校 【 3 】年生 ～ 【 6 】年生		
目的・テーマ	身近にあるランドセルからものづくりの流れ、ものを大切にする心を育てる		
プログラム内容 ※特色なども記載ください	ランドセルはひとつひとつ手作業で作られています。まずはランドセルがどのように作られているかを DVD と資料で学びます。 3～4年生 …… 工場でランドセルがどのように作られているのか 5～6年生 …… ランドセルの歴史と世界の通学鞆について		
対象人数	1 学年（60 名）人程度	必要時間	60 分程度
開催可能時期	【 9 】月 ～ 【 3 】月		
費 用	1 （人・クラス・回）あたり 【 0 】円		
必要機材	■企業側で準備するもの 【 DVD（または USB）、資料 】 ■学校側で準備するもの 【 プロジェクター、スクリーン、あればノート PC 】		
開催場所	☒ 学校（出前授業） ☐ 企業内施設 ☐ 外部施設 ☐ その他【 】		

あいづっこ人材育成プロジェクト事業「地域から学ぶ」プログラム

企業・団体名	会津若松市環境生活課 URL: https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/		
プログラム名	地球温暖化と「ゼロカーボンシティ会津若松宣言」 A: 座学のみ B: 電気自動車・水素自動車の見学+座学 URL: https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2021121100019/		
ジャンル (複数選択可能)	☒ 理科 (理科実験・科学技術体験 ☐ 英語 ☐ ICT・プログラミング ☐ 経済 ☒ 環境 ☐ 食育 ☐ 運動・スポーツ ☐ 音楽・芸術 ☐ 伝統産業 ☐ 歴史・文化 ☐ ものづくり ☐ キャリア・職業体験 ☐ 福祉・医療・介護 ☒ 地域理解 ☐ 国際理解 ☐ その他【 】		
対象学年 (複数選択可能)	☒ 小学校 【4】年生 ～ 【6】年生 ☒ 中学校 【1】年生 ～ 【3】年生		
目的・テーマ	地球温暖化の現状や原因、それに対して、世界や会津若松市で取り組んでいることについて、理解を深め、環境や地域の理解促進を図る。		
プログラム内容 ※特色なども記載ください	・地球環境問題の中で、喫緊の課題となっている地球温暖化はどんなしくみで起こるのか。また、どんな影響があるのか、また、世界や市の地球温暖化対策を知り、一人ひとりができる取組について、適宜動画やワークなどを交えて説明します。 ・市の公用車である電気自動車や水素自動車の現物を見てもらい、また、その効果についても説明します。(乗車体験はできません。)		
対象人数	30 人程度	必要時間	45～60 分程度
開催可能時期	4 月 ～ 3 月		
費 用	1 (人 ・ クラス ・ 回) あたり 0 円		
必要機材	☒ 企業側で準備するもの 電気自動車、水素自動車、説明資料、ノートパソコン ☒ 学校側で準備するもの スクリーンなど投影できる機材があれば望ましい(なくても可)		
開催場所	☒ 学校 (出前授業) ☒ 企業内施設 ☒ 外部施設 ☐ その他【 】		

あいづっこ人材育成プロジェクト事業「地域から学ぶ」プログラム

[illegible]

あいづっこ人材育成プロジェクト事業「地域から学ぶ」プログラム

企業・団体名	福島県臨床検査技師会 URL: https://www.fukushima-amt.or.jp		
プログラム名	臨床検査技師による体験授業 (サブテーマ 超音波を用いた体の観察)		
ジャンル (複数選択可能)	☒ 理科(理科実験・科学技術体験) ☐ 英語 ☐ ICT・プログラミング ☐ 経済 ☐ 環境 ☐ 食育 ☐ 運動・スポーツ ☐ 音楽・芸術 ☐ 伝統産業 ☐ 歴史・文化 ☐ ものづくり ☒ キャリア・職業体験 ☐ 福祉・医療・介護 ☐ 地域理解 ☐ 国際理解 ☐ その他【 】		
対象学年 (複数選択可能)	☒ 中学校 【 1 】年生 ～ 【 3 】年生		
目的・テーマ	①心臓、血管、腎臓を実際に超音波機器で観察し、授業の理解を深める。 ②中学生で学習する内容が臨床検査技師の仕事にどのように関わるかを体験する。 ③心臓弁膜症、癌などの病気についての知識を深めてもらう。		
プログラム内容 ※特色なども記載ください	①中学 2 年生で学習する生命を維持する働きで学習する心臓、血管、腎臓の学習内容を復習しながら、実際に超音波機器を用いて臓器を観察する。 ②正常な画像と心臓弁膜症、癌などの病気がある画像を比較して違いを学習してもらう。癌に関しては早期発見の重要性を講義する。 ③臨床検査技師の仕事を紹介する。 (対象人数が多い場合は、講演のみとするかを相談します)		
	 		
対象人数	30 人程度 (×3 クラス程度)	必要時間	50 分程度 (要相談)
開催可能時期	【 5 】月 ～ 【 3 】月		
費用	1 (人・クラス・回) あたり 【 0 】円		
必要機材	☐ 企業側で準備するもの 【超音波検査機器、PC など】 ☐ 学校側で準備するもの 【HDMI 対応のプロジェクター、スクリーン】		
開催場所	☒ 学校(出前授業) ☐ 企業内施設 ☐ 外部施設 ☐ その他【 】		

あいづっこ人材育成プロジェクト事業「地域から学ぶ」プログラム

企業・団体名	郷土の歴史研究者 伝統文化の継承者														
プログラム名	会津人に学ぶ														
ジャンル	☐ 理科（理科実験・科学技術体験） ☐ 英語 ☐ ICT・プログラミング ☐ 経済 ☐ 環境 ☐ 食育 ☐ 運動・スポーツ ☐ 音楽・芸術 ☐ 伝統産業 ☒ 歴史・文化 ☐ ものづくり ☐ キャリア・職業体験 ☐ 福祉・医療・介護 ☐ 地域理解 ☐ 国際理解 ☐ その他【 】														
対象学年	☒ 小学校 【 1 】年生 ～ 【 6 】年生 ☒ 中学校 【 1 】年生 ～ 【 3 】年生														
目的・テーマ	郷土の歴史研究者や伝統文化の継承者等から、ふるさと会津の歴史や文化について詳しく学ぶことにより、優れた文化や多くの偉人の活躍があったことを理解し、郷土への愛着を高めます。														
プログラム内容	教育課程等を踏まえ、各学校において講話内容を検討し、講師を選定し依頼してください。開催日時等についても講師と調整し決定してください。 【講師例】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">講師氏名</th><th style="width: 50%;">実施テーマ例</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>野口 信一 (元会津図書館長)</td><td>「会津を支えた先人たち」</td></tr> <tr> <td>成田 正良 (市地域教育コーディネーター)</td><td>「星座の人～山川健次郎」 「ハンサムウーマン～山本八重」 「会津の郷土料理」</td></tr> <tr> <td>新井田 忠誠 (郷土歴史研究家)</td><td>「北会津の歴史について」</td></tr> <tr> <td>森 武久 (市生涯学習指導者)</td><td>「最期の白虎隊士 山川健次郎」 「幕末から明治期に活躍した会津人」</td></tr> <tr> <td>生涯学習総合センター ※会津若松市 HP より、「生涯学習出前講座」「生涯学習指導者登録一覧」等をご参照ください。</td><td>「会津の歴史」 「発掘調査された会津の歴史」 「文化財から見た歴史」</td></tr> <tr> <td>会津若松市教育委員会文化課</td><td>「会津の歴史 戊辰戦争」 「白虎隊と飯沼定吉」</td></tr> </tbody> </table>	講師氏名	実施テーマ例	野口 信一 (元会津図書館長)	「会津を支えた先人たち」	成田 正良 (市地域教育コーディネーター)	「星座の人～山川健次郎」 「ハンサムウーマン～山本八重」 「会津の郷土料理」	新井田 忠誠 (郷土歴史研究家)	「北会津の歴史について」	森 武久 (市生涯学習指導者)	「最期の白虎隊士 山川健次郎」 「幕末から明治期に活躍した会津人」	生涯学習総合センター ※会津若松市 HP より、「生涯学習出前講座」「生涯学習指導者登録一覧」等をご参照ください。	「会津の歴史」 「発掘調査された会津の歴史」 「文化財から見た歴史」	会津若松市教育委員会文化課	「会津の歴史 戊辰戦争」 「白虎隊と飯沼定吉」
講師氏名	実施テーマ例														
野口 信一 (元会津図書館長)	「会津を支えた先人たち」														
成田 正良 (市地域教育コーディネーター)	「星座の人～山川健次郎」 「ハンサムウーマン～山本八重」 「会津の郷土料理」														
新井田 忠誠 (郷土歴史研究家)	「北会津の歴史について」														
森 武久 (市生涯学習指導者)	「最期の白虎隊士 山川健次郎」 「幕末から明治期に活躍した会津人」														
生涯学習総合センター ※会津若松市 HP より、「生涯学習出前講座」「生涯学習指導者登録一覧」等をご参照ください。	「会津の歴史」 「発掘調査された会津の歴史」 「文化財から見た歴史」														
会津若松市教育委員会文化課	「会津の歴史 戊辰戦争」 「白虎隊と飯沼定吉」														

	【事業の進め方】 ① ・学校から学校教育課へ「会津人に学ぶ」実施希望の回答を提出 ② ・学校教育課から学校へ「実施計画書」、「実施報告書」様式を送付 ③ ・学校で教育課程に基づき講話内容を検討 ④ ・学校で講師を選定し、学校から講師へ依頼（日時、講和内容等も調整する） ⑤ ・講師が決定後、実施日の2週間前までに、学校から学校教育課へ「実施計画書」を提出 ⑥ ・学校教育課は学校へ、源泉徴収後の講師謝礼と受領書を持参 ・学校は講話を実施し、講師謝礼を支払い受領印をもらう ⑦ ・講和実施後、学校から学校教育課へ「実施報告書」、講師謝礼の「受領書」を提出 ⑧ ・事業完了		
対象人数	講師と調整してください	必要時間	講師と調整してください
開催可能時期	【 通年 】		
費 用	学校教育課より、講師謝金 5,000 円／回 をお支払いいたします		
必要機材	■企業側で準備するもの 【 講師と調整してください 】 ■学校側で準備するもの 【 講師と調整してください 】		
開催場所	■学校（出前授業） □企業内施設 □外部施設 □その他【 】		

あいづっこ人材育成プロジェクト事業「地域から学ぶ」プログラム

企業・団体名	様々なジャンルの有識者
プログラム名	有識者に学ぶ
ジャンル	☐ 理科（理科実験・科学技術体験） ☐ 英語 ☐ ICT・プログラミング ☐ 経済 ☐ 環境 ☐ 食育 ☐ 運動・スポーツ ☐ 音楽・芸術 ☐ 伝統産業 ☐ 歴史・文化 ☐ ものづくり ☐ キャリア・職業体験 ☐ 福祉・医療・介護 ☐ 地域理解 ☐ 国際理解 ☒ その他【 指定なし 】
対象学年	☒ 小学校 【 1 】年生 ～ 【 6 】年生 ☒ 中学校 【 1 】年生 ～ 【 3 】年生
目的・テーマ	児童生徒や学校・教職員が興味・関心のある分野の有識者を招き、特定の分野について理解を深め、今後の学校生活や人生そのものを充実したものとする。
プログラム内容	教育課程等を踏まえ、各学校において講話内容を検討し、講師を選定し依頼してください。開催日時等についても講師と調整し決定してください。 【講座例】 ・思春期保健講座 ・歯・口の健康講座 ・コンピューターリテラシー講座

	【事業の進め方】 ① ・学校から学校教育課へ「有識者に学ぶ」実施希望の回答を提出 ② ・学校教育課から学校へ「実施計画書」、「実施報告書」様式を送付 ③ ・学校で教育課程に基づき講座内容を検討 ④ ・学校で講師を選定し、学校から講師へ依頼（日時、講演内容等も調整する） ⑤ ・講師の決定後、実施日の2週間前までに、学校から学校教育課へ「実施計画書」を提出 ⑥ ・学校教育課は学校へ、源泉徴収後の講師謝礼と受領書を持参 ・学校は講座を実施し、講師謝礼を支払い受領印をもらう ⑦ ・講座実施後、学校から学校教育課へ「実施報告書」、講師謝礼の「受領書」を提出 ⑧ ・事業完了		
対象人数	講師と調整してください	必要時間	講師と調整してください
開催可能時期	【 通 年 】		
費 用	学校教育課より、講師謝金 7,000 円／回 をお支払いいたします		
必要機材	■企業側で準備するもの 【 講師と調整してください 】 ■学校側で準備するもの 【 講師と調整してください 】		
開催場所	■学校（出前授業） □企業内施設 □外部施設 □その他【 】		